

事業所名：デイサービス TRY studio

運営推進会議等開催報告書

開催日時 令和 7年 12月 25日(木) 13時30分～14時00分	
参加者	議題
利用者 0名	1. 2025年12月時点の利用実績報告
利用者家族 0名	2. 人員体制
地域住民の代表者 2名	3. 感染予防、災害対策について
市職員 1名	4. 事故・苦情などの報告
地域包括支援センター職員 0名	5. BCP策定状況の報告
事業所 2名	6. 高齢者虐待対策に関する報告
会議録	
<p>1. 2025年12月時点の利用実績報告（添付資料参照）</p> <p>午前はほぼ満員。午後もほぼ満員の状態で、空きが出てもすぐ埋まる状態。</p> <p>男女比はほぼ半々というのが事業所の特徴となってきている。</p> <p>年齢区分も幅広い年齢層からご利用いただいている（63歳～96歳）</p> <p>認定区分としては事業対象者や要支援者が多い</p> <p>2. 人員体制および活動報告</p> <p><人員体制（登録数）></p> <p>介護職員増員し、対応中。</p> <p><活動報告></p> <p>日々の活動の流れについて写真を用いて説明を行った。</p> <p>3. 感染予防、災害対策について</p> <p><感染予防対策></p> <p>利用者来所時における検温および手指消毒の実施、サービス利用中におけるマスクの着用、随時の換気による、新型コロナウィルスをはじめとした感染予防対策を実施。</p> <p><災害対策></p> <p>防災訓練の様子を写真を用いて説明した。発見から避難までの時間は約3分30秒であった。</p> <p>終了後の職員アンケートにて良い点だけでなく、悪い点・改善点などが出たため、次回の開催に向けて改善していく予定。</p> <p>4. 事故・苦情などの報告</p> <p>自動車事故等のどうしようもない事故があったが、職員にかけがなどはなかつた。その後の利用者送迎もスムーズにフォローできた。</p> <p>転倒などの事例があり、現象とそれに対する対策について報告した。</p>	

5. 認知症者への対応

事業所開所して3年半が経過した。利用者の心身に少しづつ変化が生じており、その最たる例として認知症および認知機能の低下が挙げられた。事例を供覧し、今後の当事業所の課題について共有した。

6. 高齢者虐待対策に関する報告

現時点において当事業所で関連する報告はないが、今後も発生しないように研修等を通して、周知徹底を図っていく。

<質疑>

疑) どこの地域の利用者が多いのか？

回) おもにはたやま地域包括支援センターおよびやすらぎ地域包括支援センターのエリアの利用者が多い。片道でも30分以内の方がほとんどである。

疑) 男性が多いと思うが、男性同士でも話があるのか？

回) 話す人は話すがずっと一人で話さない方もいる。

疑) 地域の防災訓練への参加や地域と一緒に活動することは考えているか？

回) どのようにしたらいいかわからないこともあるが、ぜひやりたいという思いはあります。

疑) 地域での活動は何かしているか？

回) 介護予防教室に講師として呼ばれ活動している
また地域のお祭りなどに参加している

<今回の反省と今後の課題>

- ・地域の活動にどのように参加するか検討できるとよいか。
- ・町内会長さんなどにも声掛けをして広く色々な人に参加してもらえるよう検討していく。

次回開催予定：令和8年3月頃。